



# いしかわ労福協

第661号 2023年2月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会  
発行責任者 福田 佳央  
編集人 上野 貞彦  
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号  
電話 (076) 231-1737  
FAX (076) 231-1731  
<https://ishikawa-rofukukyo.jp>  
info@ishikawa-rofukukyo.jp  
毎月1回 25日発行

## 第46回研究集会(第19回LSC研修会)



2月14日  
(火)、フレン  
ドパーク石  
川において、  
第46回研究  
集会(第19  
回LSC研修会)を開催した。

今回の研修会は、Webでの参加も可能としたハイブリッド方式で行われ、会場参加の53名と合わせて84名が聴講した。

福田佳央理事長の開会挨拶の後、MRO北陸放送常務取締役の島田喜広氏と石川県公立大学法人理事長で前石川県知事の谷本正憲氏の両名から講演を受けた。

はじめに、島田氏が「体験的テレビ報道史～ニュースの裏側で起きていたこと～」と題し、TBSに入社し、ニュースカメラマンとして国内外での体験をもとに、現場の出来事を取材・撮影し、いち早くニュースとして届けることに危険を顧みず情熱を傾けた。一方、痛ましい事故や社会が変わる瞬間、戦場を取材する中で、被害者やその遺族に取材する心苦しさなどを吐露した。また、入社当時には6kgは優にあるテレビカメラを持ちながら取材し、本局にビデオを送る手段はテレグラムや電磁ホーンくらいしかなく、その手段さえも使用できず、山中を駆け下りて録画ビデオテープを運んだ時もあったとのこと。現在は、技術が格段に進歩し、ほんの数kgの機材で取材現場から直接に生放送できる時代となった。また、スマートフォンの普及により視聴者から映像が提供されるなど、ニュース記者の役割も変わりつつあるなど、ほんの数十秒のニュースのために奮闘するテレビ局員の裏側を知る講演であった。

次に、谷本氏が、28年間に亘り石川県政のかじ取り役として活躍してきた中で出来たことや折々での苦労話を講演した。その中で、就任当

時は石川県に魅力があるにもかかわらず都会からのアクセスが容易でないことから産業が伸び悩んでいたことを改善するため、先ずは石川県の魅力アップのために本物の良さをアピールすること、そして、陸路、空路、海路をより便利にすることが重要であると考え、県政の柱としてきた。まず、史実に忠実な金沢城を復元することとし、木造に拘り菱櫓をはじめとした復元を進めた。また、新幹線計画が遅々として進まない中、空路の整備として、陸の孤島と言われてきた能登に国の整備計画に則った空港を整備すること。また、自衛隊小松基地と共に用する小松空港を国際空港化すること。ようやく新幹線が開業するめどが立ったが、地元産業が製造した製品を海外に輸送するためには海路が重要であり、そのために釣り堀港と言われてきた金沢港を整備し、大型貨物船はもとよりクルーズ船も就航させることができた。いずれも石川県単独では出来かねる大型プロジェクトであったが、人や時代にも恵まれてそれぞれ思いが叶った。また、能登地震により寸断された能登有料道路の復旧についても、将来を見越した複線化用地を活用して迂回路を整備し、能登の生活や産業を維持することができた。自身も知事退任後から自動車の運転を再開し、県内をドライブしているが、珠洲、輪島まで行くには、「やはり『のと里山海道』の複線化は必要だ」と言明しつつ近況を伝えた。いくら自身が携わってきたこととは言え原稿なしの話しぶりは現役そのものの勢いのある講演であった。



島田常務



谷本理事長

## 連合石川・石川労福協「2023 新春の集い」



労福協は、1月5日(木)、ANAクラウンプラザホテル金沢において、連合石川との合同で「2023 新春の集い」を催し約170名が参加した。

はじめに福田佳央労福協理事長(連合石川会長)が、連合石川・石川労福協『2023年新春の集い』の開催にあたり以下のように挨拶した。

「馳浩石川県知事をはじめとしたご来賓の皆様をはじめとする全ての仲間の皆さんにご参加いただきましたことに心から御礼申し上げま

す。

本年の各運動課題に対する決意を3点に絞って、所信を述べさせていただきます。

まず、『2023 春季生活闘争』については、エネルギーや生活必需品など物価高騰により働く仲間をはじめとする生活者の消費生活は危機的状況にあり、その対応として5%の賃上げを目指すとともに賃金水準を他の先進国並みにレベルアップするよう、また、コスト高を適正に価格転嫁できるよう社会全体で取り組んでいくよう取り組みます。

次に、本年4月に予定されている『統一地方選挙』においては、私たちの暮らしや社会全体の向上のための意見を反映してくれる代弁者である議員の当選を勝ち取るよう取り組みます。また、予想される解散・総選挙においても、働く者・生活者の立場に立った議員の当選に取り組んでいきます。

最後に、労働者福祉運動の強化として、フリーランスなど多様な形で働く人、外国人労働者にも労働者福祉の必要性が増してきている。また、格差の拡大、貧困の増加、困窮するヤングケアラーへの支援をフードバンク事業を通じて更に充実する検討が必要です。また、石川労福協は、労働者自主福祉運動の推進においても、女性の目線の意見を反映させるべく、労働者福祉事業の体制強化に取り組んでいきます」。

今年は、ウィズコロナ対応としての制限はあるものの会食を伴う形での開催となり、3年ぶりに盛況な新年の顔合わせの機会となった。

## 第1回労福協・地域LSC合同会議



2月1日(水)、フレンドパーク石川において、労福協・地域LSC合同会議が開催された。

この会議では、昨年9月の地域ライフ・サポートセンター代表者との意見交換会において提起した地域ライフ・サポートセンターの改革の考え方に対し、方向性を確認し、今後のあり方などについて労福協より示され、各地域ライフ・サポートセンター代表の

理解を得ることになった。

新たな地域ライフ・サポートセンターは、事務局機能は県ライフ・サポートセンターに集約・移行するが、運動体としての機能を残し、連合石川地域協議会との関わりを深めつつ、北陸労働金庫各営業店、こくみん共済 coop 石川推進本部と連携し、運動を進めることなど方向を確認した。なお、その連携の在り方など具体な方向は、今後さらに詰めつつ、2024年4月1日からの再編を目指すこととし、初回会議を終えた。

## 第94回石川県統一メーデー実行委員会

連合石川・石川労福協等で構成する第94回石川県統一メーデー実行委員会は、1月23日(月)の第1回に続き、2月15日(水)に第2回の実行委員会を開催した。

今年も5月1日を基準として県内各地でメーデーを開催することとした。なお、1日は月曜日にあたるため、式典・パレード(デモ行進)を基軸とするものの、土日開催の会場においては家族参加型として検討することとした。

加えて、協賛行事は、勤労者体育協会、勤労者文化協会の各大会・展覧会などの各行事を開催することを決定した。さらに、フードドライブを各地で開催し、各社会福祉協議会を通じて子ども食堂や生活困窮者支援に役立てることとした。

また、自然災害への取り組みとしては、防災訓練をオンライン形式で開催することを決定した。このオンライン版防災訓練は、大型化する台風に備えたものであり、家に居ながらでも家族で参加できるもので、こくみん共済 coop 石川推進本部の小松ショップオープン企画と連携して開催することとした。

連合本部では、メーデーの精神を引き継ぎつつ5月1日以外の日に実施するとして、2001年からゴールデンウィーク最初の休日に開催しており、今では大半の都道府県メーデーがこれに準じて開催されている。メーデー開催については、連続休暇の取得、働き方改革の観点からも、開催日を改めてはどうかという動きがあることから、今後の検討課題として意見を求めつつ検討することとした。

### 勤労者体育協会

#### 《第57回県勤労者冬季体育大会 バスケットボール大会》

2月5日・白山市美川体育館

◇男子1組  
① OLDSTAR ② AGRI ③ 庶民シート

#### 《第57回県勤労者冬季体育大会 卓球大会》

2月5日・金沢市浅野川市民体育館

◇男子1組  
① OVERLIGHT D (白山) ② TRY (志賀)  
③ トランテックス A (白山)

◇男子2組  
① OVERLIGHT C (白山) ② S-55 (金沢)  
③ OVERLIGHT B (白山)

◇女子1組  
① ウインズ A (白山) ② 珠姫ゆり (金沢)  
③ 勤体協 B (金沢)

◇女子2組  
① NOTOヤンキース(七尾) ② 石川サンケン・TTS(津幡)  
③ 勤体協 A

1/26～2/25

#### 《第57回県勤労者冬季体育大会 バトミントン大会》

2月12日・白山市若宮体育館

◇男子  
① ワタキューセイモア (金沢) ② 瓢友クラブ (野々市)  
③ 寺井クラブ (能美市) ④ IBC + 浅 (金沢)

◇女子  
① 瓢友クラブ A (野々市) ② ワタキューセイモア (金沢)  
③ 瓢友クラブ B (野々市) ④ 弥生クラブ (金沢)

◇混合  
① 勤体協サークル (野々市) ② 千坂クラブ A (金沢)  
③ 千代野クラブ (小松) ④ 千坂クラブ B (金沢)

#### 《第57回県勤労者冬季体育大会 バスケットボール大会》

2月12日・内灘町総合体育館

◇女子1組  
① TMP ? ② NSI ③ INUMARU

#### 《第57回県勤労者冬季体育大会 バスケットボール大会》

2月19日・津幡運動公園体育館

◇男子2組  
① ルーザーズ ② 大将 ③ YAKAMORI

### これからの行事予定

(2月25日現在)

開催日	曜日	行 事
2月26日	日	女性のための無料相談会
27日	月	中部労福協 第8回代表者会議 (~28日)
3月2日	木	第19回 LSC 代表者会議
7日	火	第3回地方労福協会議
9日	木	中部会館協第4回幹事会 (~10日)
20日	月	石川県社会福祉審議会
23日	木	全国会館協議会 幹事会 (~24日)
27日	月	労信協理事会
31日	金	労働者互助会 役員会

会 場
金沢労働者プラザ
京都市
フレンドパーク石川
Web
彦根市
県庁
広島市
フレンドパーク石川
北陸労働金庫

勤文協

# 勤労者早春絵画・書・生花展

2月9日(木)～2月12日(日)、勤文協主催の第53回早春絵画・書・生花展がしいのき迎賓館ギャラリーA及びBにて開催された。日本画8点、洋画15点、書道18点、生花9点の出展があり、期間中には600名を超える愛好家が訪れ早春にふさわしい華やかな作品を楽しんだ。

最高賞の勤文協会長賞には日本画の金子君恵氏(金沢市)が選ばれ、12日の表彰式には各部門の労福協理事長賞、北國新聞社長賞をはじめとする各賞受賞者が集い、表彰状授与の後に各部門審査員からのアドバイスを受けて今後の作品制作の参考とした。

## 日本画



勤文協会長賞「水蓮」  
金子 君恵(金沢市)



労福協理事長賞「公園で遊ぶ」  
兼政 一枝(珠洲市)



北國新聞社長賞「おひさま」  
前田 侑美(金沢市)

## 洋 画



労福協理事長賞「雪の那谷寺」  
藤本 英明(金沢市)



北國新聞社長賞「ジゼル」  
倉部 純子(能美市)

## 書 道



労福協理事長賞「和顔施」  
木谷 吏沙(金沢市)



北國新聞社長賞「川田順の詩」  
下島 富美子(金沢市)